記 入 例

耕畜連携助成における利用供給協定書

(目的)

第1条 わら生産・利用の取組

(実施の主体)

第2条 わらを生産する者、わらを利用する者は以下のとおりとする。

わらを生産する者: 宇都宮 太郎

わらを収集する者: 上河内 花子

わらを利用する者: 上河内 花子

(ほ場の場所)

第3条 ほ場の場所及び面積、刈取り時期は別紙のとおりとする。

1年間以上の締結期間として下さい。

(協定締結期間)

第4条 <u>5</u>年 <u>6</u>月 <u>1日から6年 5月31</u>までの <u>1</u>年間とする。

(役務と対価)

第5条 わら取引の条件(作業分担及び品代・経費の負担)

【例】・わら引取料として乙 〇〇〇〇 に 〇〇〇〇 円を支払う。

・ロール作業の対価としてわらを無償で渡し、たい肥を利用する。

(その他)

第6条 協定の変更はその都度協議する。

以上、協定締結の証として、本協定書2通を作成し、各々1通保管することとする。

令和 5年 6月 1日

氏名、住所を記入し押印して下さい。 甲(わらを生産する者) 宇都宮 太郎 宇印書 住所: 宇都宮市○○町○○○○ 宮

疴印

乙(わらを利用する者)

氏名: 上河内 花子

住所: 字都宮市〇〇町〇〇〇〇

わら利用 (自家利用)

耕畜連携助成における自家利用供給計画書

(目的)

第1条 わら生産・利用の取組

(実施の主体)

第2条 わらを生産する者、わらを利用する者は同一の者とする。

(ほ場の場所)

第3条 ほ場の場所及び面積、刈取り時期は別紙のとおりとする。

(協定締結期間)

1年間以上の締結期間として下さい。

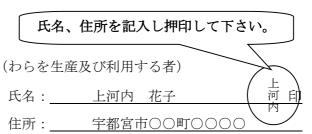
第4条 $\underline{5}$ 年 $\underline{6}$ 月 $\underline{1}$ 日から $\underline{6}$ 年 $\underline{5}$ 月 $\underline{3}$ 1までの $\underline{1}$ 年間とする。

(その他)

第5条 協定の変更はその都度協議する。

以上、自家利用計画の証として、保管することとする。

令和5年 6月 1日



記 入 例

耕畜連携助成における利用供給協定書

(目的)

第1条 資源循環の取組

(実施の主体)

第2条 飼料作物を生産する者,たい肥を散布する者は以下のとおりとする。

飼料作物を生産する者: ______ 宇都宮 太郎

たい肥を散布する者: 上河内 花子

(ほ場の場所)

第3条 ほ場の場所及び面積、たい肥の散布時期及び種類、、量は別紙のとおりとする。

(協定締結期間)

第4条 $\underline{5}$ 年 $\underline{6}$ 月 $\underline{1}$ 日から $\underline{6}$ 年 $\underline{5}$ 月 $\underline{31}$ までの $\underline{1}$ 年間とする。

1年間以上の締結期間として下さい。

都

河

南

(役務と対価)

第5条 たい肥散布の条件(作業分担及び品代・経費の負担)

【例】・飼料作物として乙が 〇〇〇〇 に 〇〇〇〇 円を支払う。

・収穫作業の対価として無償で渡し、たい肥を利用する。

(その他)

第6条 協定の変更はその都度協議する。

以上、協定締結の証として、本協定書2通を作成し、各々1通保管することとする。

令和 5年 6月 1日

氏名、住所を記入し押印して下さい。

甲 (飼料作物を生産する者)

氏名: 宇都宮 太郎

住所: 字都宮市〇〇町〇〇〇

乙(たい肥を散布する者)

氏名: 上河内 花子

住所: 宇都宮市〇〇町〇〇〇